



2021年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年2月12日

上場会社名 株式会社アミファ 上場取引所 東
 コード番号 7800 URL https://www.amifa.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井愉三
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 川上康夫 TEL 03 (6432) 9500
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第1四半期の業績 (2020年10月1日～2020年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	1,567	4.3	180	11.9	181	10.4	109	6.1
2020年9月期第1四半期	1,503	—	161	—	164	—	103	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	33.91	33.86
2020年9月期第1四半期	32.21	31.96

(注) 当社は2019年第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2020年9月期第1四半期の対前年同期の増減率を記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	3,037	2,203	72.5
2020年9月期	2,938	2,155	73.3

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 2,203百万円 2020年9月期 2,155百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	—	—	19.00	19.00
2021年9月期	—	—	—	—	—
2021年9月期 (予想)	—	—	—	19.00	19.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年9月期の業績予想 (2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	4.5	240	△8.7	245	△8.0	150	△13.3	46.51

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期 (累計) の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期1Q	3,225,000株	2020年9月期	3,225,000株
② 期末自己株式数	2021年9月期1Q	－株	2020年9月期	－株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期1Q	3,225,000株	2020年9月期1Q	3,200,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

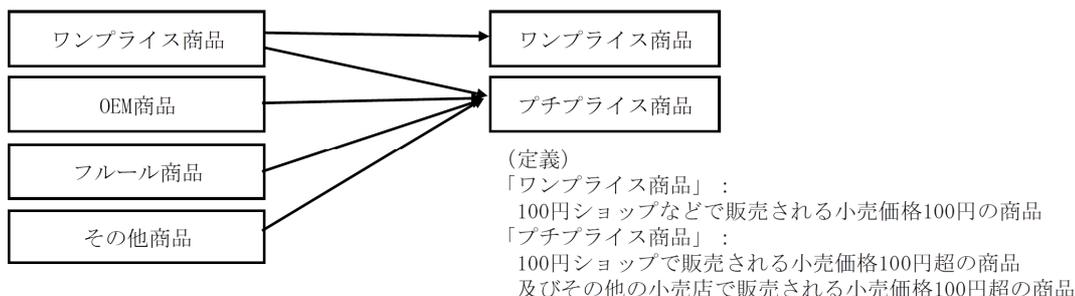
当第1四半期累計期間（自 2020年10月1日 至 2020年12月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大も一定の落ち着きを見せ、「Go toキャンペーン」等の施策もあり、経済活動が再開され、持ち直す兆しがみえてきたものの、11月からは第3波の感染急拡大の中で、先行きに不安を抱える状況となりました。こうした環境下、当社は、新型コロナウイルス感染症の影響からレジャー、パーティー等、多くの人々が集うシーンに使われる商品の需要が減少すると見込まれることから、個人や少人数でも楽しめる商品を中心に、主要顧客である100円ショップ各社に向けてライフスタイル雑貨の販売に注力し、特に主要顧客への販売拡大に向けて、新企画や新商品の提案に積極的に取り組みました。また、積極的な原価低減に努めました。

なお、当社は3年間の基本的な経営戦略を毎年見直しておりますが、今後3年間（2020年10月～2023年9月）の新たな重点戦略として、以下の4つを策定いたしました。

- ① ワンプライス（100円）商品の更なる強化
- ② プチプライス（200円～）商品の拡大
- ③ ICT（情報通信技術）の推進
- ④ アミファの世界観を実現するプロフェッショナル集団の推進

これに伴い、従来「ワンプライス商品」、「OEM商品」、「フルール商品」及び「その他商品」の商品分類（セクター）を下記の通り、「ワンプライス商品」と「プチプライス商品」の2分類に見直しました。

イ. 商品分類の組替



ロ. 前事業年度（2019年10月1日～2020年9月30日）商品区分の組換内訳

旧分類	(千円)		新分類	(千円)	
ワンプライス商品	4,473,568	93.5%	ワンプライス商品	4,474,107	93.5%
OEM商品	216,173	4.5%	プチプライス商品	311,007	6.5%
フルール商品	93,481	2.0%	合計	4,785,114	100%
その他商品	1,891	0.0%			
合計	4,785,114	100%			

ハ. 前事業年度（2019年10月1日～2020年9月30日）四半期累計別商品区分の組換内訳

	(千円)			
	第1四半期累計期間	第2四半期累計期間	第3四半期累計期間	事業年度計
ワンプライス商品	1,353,000	2,708,282	3,454,626	4,474,107
プチプライス商品	150,060	231,539	278,896	311,007
合計	1,503,061	2,939,822	3,733,523	4,785,114

ニ. 当事業年度第1四半期累計期間（2020年10月1日～2020年12月31日）の商品区分の組換え内訳

旧分類 (千円)			新分類 (千円)		
ワンプライス商品	1,430,297	91.3%	ワンプライス商品	1,429,709	91.2%
OEM商品	119,708	7.6%	プチプライス商品	137,481	8.8%
フルール商品	16,828	1.1%	合計	1,567,190	100%
その他商品	355	0.0%			
合計	1,567,190	100%			

この結果、当第1四半期累計期間における当社のライフスタイル雑貨の商品群別累計売上高は、「ワンプライス商品」が1,429,709千円（前年同期比5.7%増）、「プチプライス商品」が137,481千円（同8.4%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経営成績の概要につきましては以下の通りであります。

	(千円)			
	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
当四半期	1,567,190	180,326	181,574	109,364
前四半期	1,503,061	161,144	164,474	103,068
増減額	64,129	19,181	17,100	6,296
増減率 (%)	4.3%	11.9%	10.4%	6.1%

売上高は、前年同期比64,129千円増（4.3%増）の1,567,190千円となりました。これは主に、クリスマスを中心にラッピング関連商品の販売が好調であったことによります。新しい生活様式に則した新商品を積極的に提案した効果が表れているとともに、外的要因としては、巣ごもり消費拡大によりネット通販の需要が高まったことによるのではないかと分析しております。

営業利益は、前年同期比19,181千円増（11.9%増）の180,326千円となりました。これは、販管費の増加がありましたが、売上高の増加による増益効果と原価低減努力、円高等による売上原価率の改善効果により増益となったものです。

経常利益は、前年同期比17,100千円増（10.4%増）の181,574千円となりました。これは、営業利益の増加19,181千円があったものの、新型コロナウイルス感染症対策に対する助成金収入2,945千円があった一方、前第1四半期の為替差益3,424千円が、当第1四半期には為替差損1,529千円となったこと等から2,081千円減少したことによるものです。

以上の結果、四半期純利益は、前年同期比6,296千円増（同6.1%増）の109,364千円となりました。

なお、当社の事業は、ライフスタイル雑貨事業の単一セグメントであるため、セグメントの記載をしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は2,836,524千円となり、前事業年度末に比べ82,736千円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が514,184千円増加した一方、現金及び預金が356,717千円減少、たな卸資産が82,442千円減少したことによるものであります。固定資産は201,263千円となり、前事業年度末に比べ16,052千円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が17,394千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、3,037,787千円となり、前事業年度末に比べ98,788千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は489,876千円となり、前事業年度末に比べ66,261千円増加いたしました。これは主に買掛金が31,097千円増加、未払法人税等が40,087千円増加したことによるものであります。固定負債は344,661千円となり、前事業年度末に比べ15,319千円減少いたしました。これは主に長期借入金17,500千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、834,537千円となり、前事業年度末に比べ50,942千円増加いたしました。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産合計は2,203,250千円となり、前事業年度末に比べ47,845千円増加いたしました。これは主に四半期純利益109,364千円、配当金支払61,275千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は前事業年度末に比べて0.8ポイント減少し、72.5%となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月13日に公表いたしました業績見通しの数字につきましては、現時点で変更はありません。

現在のところ、当社の事業活動における新型コロナウイルス感染症の影響は、軽微に留まるものと予想しておりますが、今後とも引き続き注視を続けてまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,332,039	975,322
受取手形及び売掛金	393,531	907,715
電子記録債権	1,699	5,377
たな卸資産	986,360	903,917
その他	40,406	46,379
貸倒引当金	△247	△2,187
流動資産合計	2,753,788	2,836,524
固定資産		
有形固定資産	57,031	55,871
無形固定資産	52,249	52,066
投資その他の資産	75,929	93,324
固定資産合計	185,210	201,263
資産合計	2,938,999	3,037,787
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,504	54,601
1年内返済予定の長期借入金	70,000	70,000
未払金	239,565	256,002
未払法人税等	32,084	72,171
賞与引当金	27,528	—
その他	30,932	37,101
流動負債合計	423,614	489,876
固定負債		
長期借入金	87,500	70,000
退職給付引当金	18,145	20,326
役員長期未払金	254,335	254,335
固定負債合計	359,980	344,661
負債合計	783,594	834,537
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,525	35,525
資本剰余金	271,773	271,773
利益剰余金	1,849,603	1,897,693
株主資本合計	2,156,902	2,204,992
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,472	2,023
繰延ヘッジ損益	△3,969	△3,765
評価・換算差額等合計	△1,497	△1,741
純資産合計	2,155,404	2,203,250
負債純資産合計	2,938,999	3,037,787

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上高	1,503,061	1,567,190
売上原価	849,221	863,689
売上総利益	653,840	703,501
販売費及び一般管理費	492,695	523,174
営業利益	161,144	180,326
営業外収益		
受取配当金	28	30
為替差益	3,424	—
助成金収入	—	2,945
その他	219	54
営業外収益合計	3,671	3,029
営業外費用		
支払利息	341	252
為替差損	—	1,529
営業外費用合計	341	1,781
経常利益	164,474	181,574
税引前四半期純利益	164,474	181,574
法人税等	61,406	72,210
四半期純利益	103,068	109,364

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて）

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載のとおりであります。会計上の見積りの仮定については、当第1四半期累計期間において重要な見直しは行っておりません。